

アフリカ開発銀行(AfDB)とインド

デジタル金融包摂における連携



AfDB

- 1983年加盟
- 中所得国及び民間セクターへの非譲許的融資

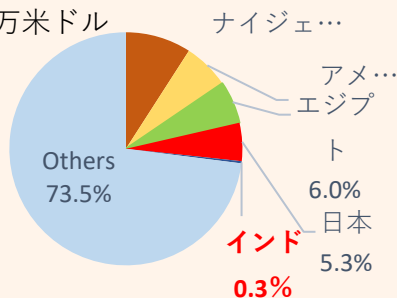
ADF

- 1982年加盟
- 低所得国支援に特化したアフリカ開発基金

インド

引受資本：5億6,264万米ドル
出資比率：0.3%

加盟国別出資比率
(2023年7月末時点)



- 2023年8月、インドはアフリカのデジタル金融包摂を促進するため、AfDBが運営するアフリカ・デジタル金融包摂ファシリティ (ADFI) に200万米ドルを拠出すると発表。
- AfDBとインドとの長い関係における重要なマイルストーンであり、インドがマルチドナーファシリティへ拠出した初の事例。インドはデジタル金融包摂分野における先駆者であり、AfDBはインドの知見から学ぶことができる。
- ADFIは、デジタル金融包摂の成長に対する制度的障壁を解消し、特にジェンダー格差を縮小することで、アフリカにおけるデジタル金融ソリューションを有益なものとし、手頃な価格で安全、且つアクセスしやすいものにするを目的としている。

インド・アフリカ・グロース・パートナーシップ (India-Africa Growth Partnership)



- 通称「コンクラベ」と呼ばれるこの会議は、インド工業連盟 (CII) とインド輸出入銀行が、インド外務省及び商工省、インド政府の協力を得て、2005年から毎年開催。
- AfDBアジア代表事務所 (PEXT) は2014年以来、毎年参加。
- 2023年6月14-16日にニューデリーにて、第18回コンクラベを開催。

インド・アフリカ・サミット

- インド商工会議所 (IMC) とアフリカ・ビジネス・ニュース (ABN) が主催。サブサハラアフリカとインドの経済及びビジネス関係を促進することを目的としている。

インド・アフリカ経済協力基金 (INAFEC)



- AfDBは1998年以来、インドによる信託基金を設置。同信託基金は2015年5月に総額950万米ドル (6億インドルピー) が補充。2023年1月、インドは新たなインド信託基金に600万米ドル (5億インドルピー) を拠出することを約束。
- インドはこの基金を通じて、アフリカとの官民連携の実施に関する専門知識を共有している。
- 信託基金の優先分野としては、インフラ及び鉄道開発における技術支援、ICT、科学技術、非伝統的エネルギー、インドの開発経験についての知識共有など。

シャプールジ・パロンジ太陽光発電プロジェクト/ 国際的な太陽光発電に関するアライアンス:ISA

- 2017年、エジプトにおける固定価格買取制度 (FiT) プロジェクトの第2ラウンドにおいて、AfDBはシャプールジ・パロンジ太陽光発電プロジェクトに総額1900万米ドルのシニアローンを承認。これにより独立系発電事業者 (IPP) のシャプールジ・パロンジ・エネルギー・エジプト社 (SPEE) は、期間18年の融資を獲得。この融資には、地球環境ファシリティ (GEF) からの700万米ドルの譲許的融資を含む。
- インドは2015年に国際的な太陽光発電に関するアライアンス (ISA) を設立し、アフリカ開発銀行はインドと共同で管理される20億米ドルの受取可能先 (約10%) として、若しくはパラレル融資ファシリティとして位置付けている。
- AfDBはISAと共に、太陽光資源に恵まれたアフリカ諸国における太陽光発電の開発のための技術支援と知識移転を支援し、オフグリッド太陽光発電プロジェクト向けの資金調達手を促進。AfDBの「太陽光によって砂漠を新たなエネルギー源に変えるイニシアティブ」を支援。